



新体育館外観イメージ



敷地の全体イメージ



メディア棟 外観イメージ

■ 施設概要

	床面積	構造
校舎棟	5,044㎡	R C 造
武道場	1,127㎡	R C 造
新体育館	1,971㎡	S 造
メディア棟	326㎡	S 造

※本資料は基本設計段階のものであり、今後の協議や
詳細設計において変更になる場合があります。



下田市立統合中学校 基本設計概要版



ロータリーからのイメージ

■ 5 つの設計指針

学校施設の長寿命化

耐久性・メンテナンス性・更新性等に配慮した材料、しつらえ、省エネ器具や節水器具の採用で環境負荷の軽減を図ります。

教育環境の向上

カリキュラムの変更や、教育形態の変化に柔軟に対応できる計画とします。
教室へのエアコン設置、多目的室の配置、トイレのリニューアル等、生活環境の向上を図ります。

安全で魅力的なアプローチ計画

バス・自転車・徒歩の生徒がそれぞれ安全に通学できるアプローチ計画とします。
ロータリーには広場を設け、新中学の顔づくりをします。

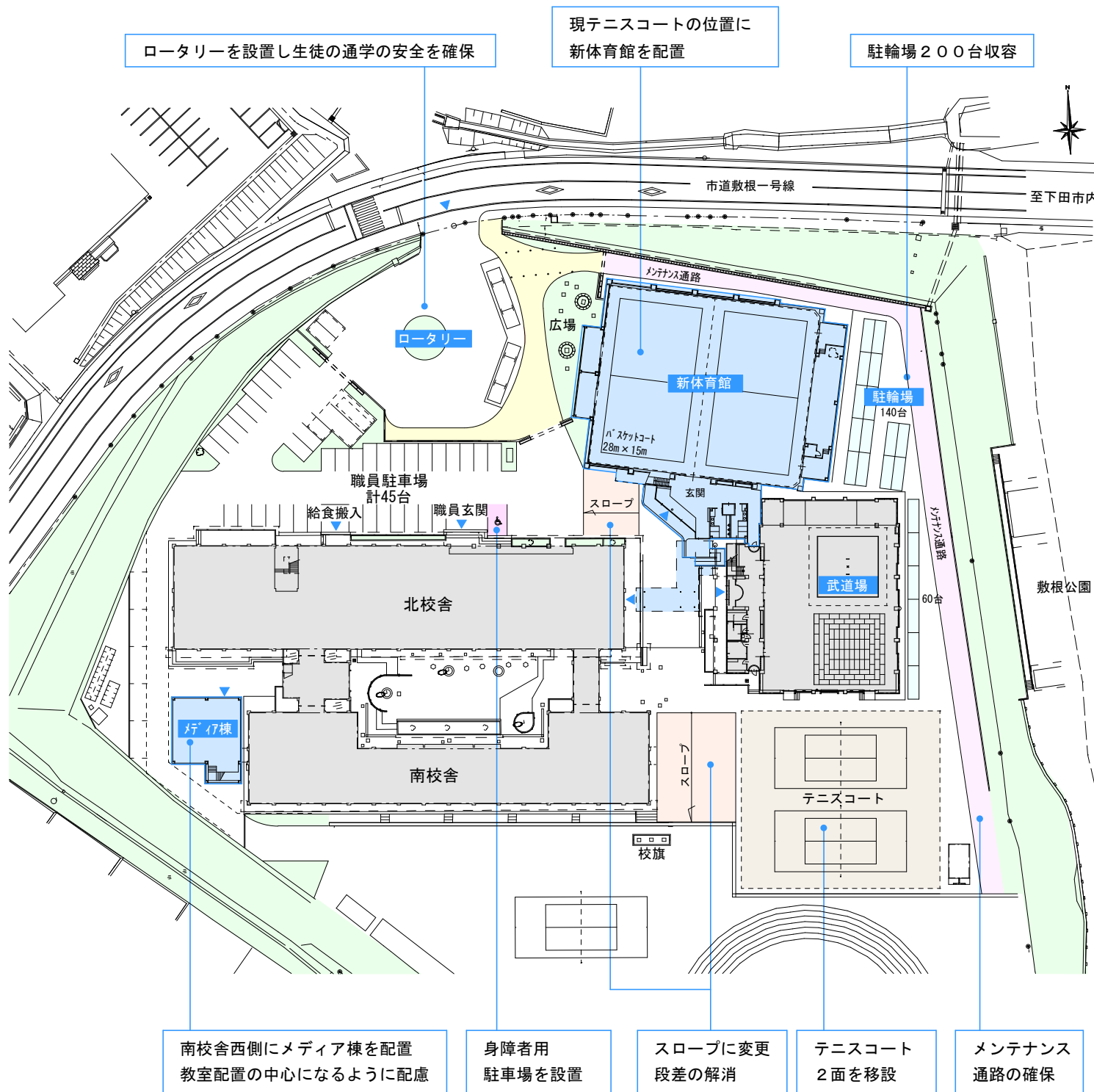
情報化教育への対応

教育の情報化に対応する、図書室・視聴覚室が連携したメディア棟を設けます。
情報通信技術を活用し、一斉学習に加え個別学習や協働学習を促進します。

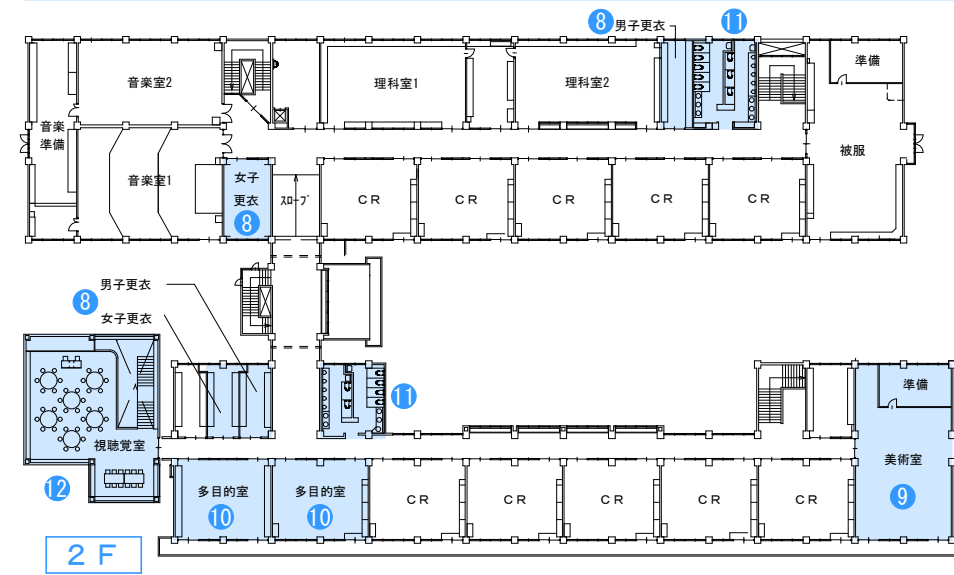
広域避難場所としての利用への配慮

新体育館は避難所として必要な耐震性を確保します。通風・採光の自然エネルギーの利用、ユニバーサルデザインの導入、情報・通信環境の整備など避難生活に配慮した計画とします。

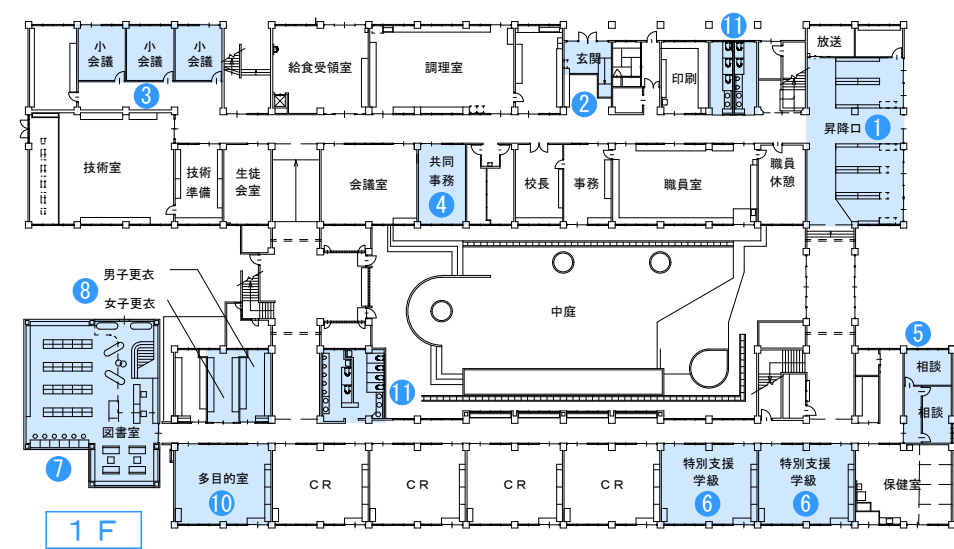
■ 配置計画



■ 校舎平面計画



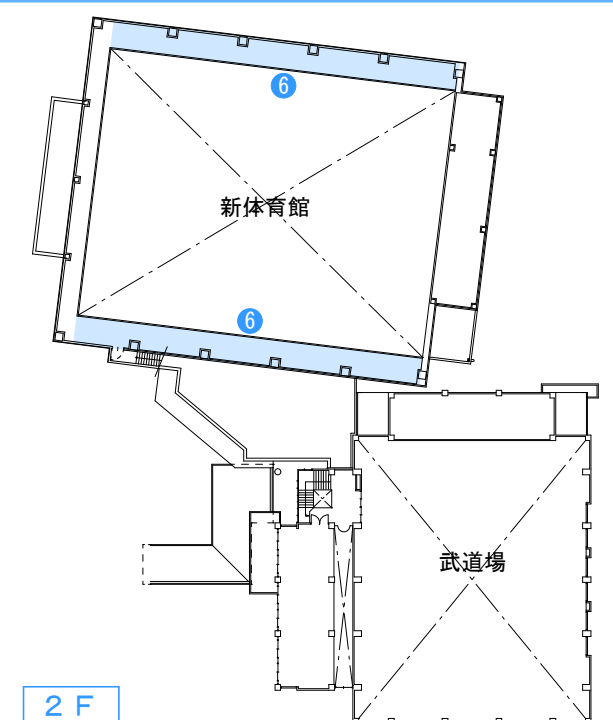
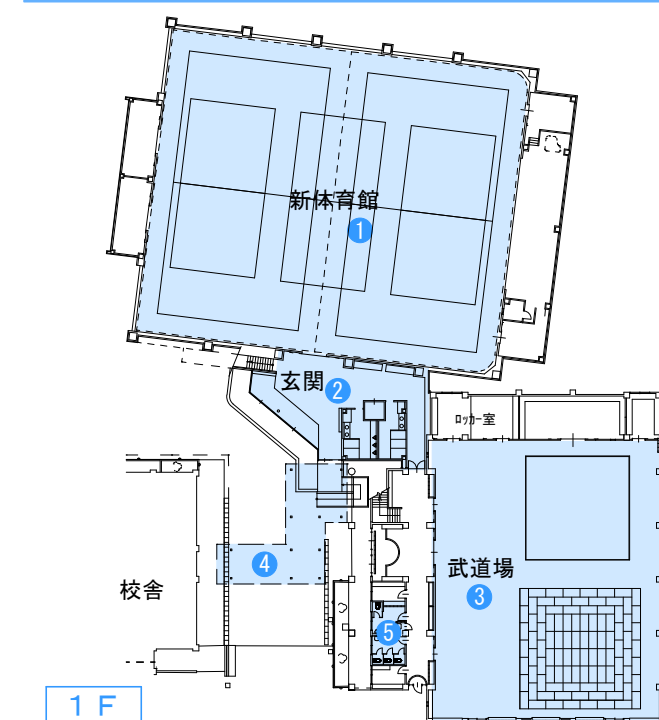
- ⑧ 各学年に男女それぞれ1部屋ずつ更衣室を設置。
- ⑨ 図書室を美術室に変更。
- ⑩ 各学年に1部屋、個別学習・協働学習等の多様な教育形態に対応する多目的室を設置。
- ⑪ 全てのトイレを和式から洋式に改修。
- ⑫ メディア棟2階には、視聴覚室を設置。内部階段を設置し図書室との連携を図る。



- ① 統合後の生徒数に対応した下駄箱数量を確保。
- ② 玄関にスロープを設置し車椅子利用者に配慮。
- ③ 金工室を小会議室×3に変更。個別学習など多用途に利用。
- ④ 市内小中学校の事務員用の共同事務室を設置。
- ⑤ 相談室をプライバシーを確保した2部屋の個室に分割。
- ⑥ 特別支援学級を2クラス分確保。
- ⑦ メディア棟1階には、図書室を設置。

※CRは普通教室を示します。

■ 新体育館・武道場平面計画



- ① 新体育館アリーナは、公式バスケットボールコート2面分とバレーボールコート約3面分の広さを確保。
- ② 玄関ホールは新体育館と武道場を接続。
- ③ 武道場には柔道場を設置。

- ④ 新体育館と武道場の両方にアプローチ可能な渡り廊下を設置。
- ⑤ 武道場のトイレを和式から洋式に改修。
- ⑥ 新体育館の2階には見学スペースを兼ねた管理用通路を設置し、玄関ホールから直接アプローチ可能。